

サトコジファイル

Satokoji

File

福生市議会議員
佐藤こうじ

議員活動レポート



福生「生きがい都市」宣言！

防衛省本省・ 北関東防衛局へ 要望書を提出

令和6年7月8日、委員長を務める横田基地対策特別委員会で、防衛省本省並びに北関東防衛局を訪問し、横田基地に関する様々な要望を行いました。毎年7月に行なっているこの要望活動（要請行動）の冒頭の委員長挨拶のなかで以下の点に触れつつ要請文を手渡しました。

①令和5年5月中旬に横田基地にQR-4グローバル・ホーク※の一時展開が開始され、すでに1年以上が経過しており、常駐化を懸念していること。
②CV-22オスプレイ1機が令和5年11月に墜落し、その事故調査が現在進行中であるにもかかわらず、7月2日に情報提供が全くないまま市内上空を旋回したこと。
③横田基地内で令和5年1月に消火用のスプリンクラーの破損によりPFASを含む消火薬剤の漏出があり、速やかな情報提供がなされておらず、これまで以上に環境や健康への被害の懸念が市民に広がっていること。
④福生市が重要土地等調査法の特別注視区域に指定され、土地や建物の売買など、市民の経済活動に影響が出る恐れがあること。
横田基地が存在することで、厳しい環境におかれている福生市民のこうした現状を理解され、要望事項への配慮を強く求めました。要望事項は15項目36点です。詳しくは福生市議会HPに掲載の要請文をご覧ください。



※) グラムを拠点に運用されているアメリカ軍の無人偵察機。全長約15m、翼を含めた幅は約4.0m。航続時間は約3.6時間で、最大巡航速度は時速約57.0km。グライダーのような外形をしている。



防衛省地方協力局長大和田氏

北関東防衛局長二又氏

令和6年6月議会での一般質問

1 加藤市長5期目の市政運営について

質問 4月に行われた福生市長選挙において再選された加藤市長に対し、「生み出す、守る、育てる、豊かにする、つなぐ」の5つの行動指針に基づく5期目の市政運営について質問しました。

答弁 ①「生み出す」→福生駅西口再開発は、持続可能な形で次代につなげていけるよう準備組合への支援を引き続き行う。JR熊川駅・東福生駅のバリアフリー化。②「守る」→「福生市地域防災計画」を「首都直下地震等による東京の被害想定」等を踏まえ修正した。引き続き万全を期す。③「育てる」→「こども計画」策定。特定不妊治療費・多胎妊婦健康診査費の助成。教員の英語指導力、英語力向上のための指導、助言を行う英語教育指導顧問を新たに配置。④「豊かにする」→介護サービス事業所の人材の確保や定着を図るため、介護従事者の資格取得に係る費用等の補助を実施。重層的支援体制の整備に向けた移行準備にも着実に行う。⑤「つなぐ」→市民の利便性の向上や事務の効率化のためのDX（デジタル・トランスフォーメーション）を更に推進。⑥「SDGs」の取組みについて、後期総合計画においてわかりやすい形で伝えられるように工夫を凝らす。



Satokoji Point

修正を行った福生市地域防災計画には、事業継続計画（地震編）BCPの不断の見直しを行うとあり、令和6年度末の完了を予定しているとのこと。令和6年元旦に能登半島地震に見舞われ、南海トラフ地震、首都直下型地震に日本全体がおののく現在の状況です。喫緊の課題であり計画の見直しを速やかに進めるよう要望しました。

2 横田基地について

(1) オスプレイの飛行再開について

質問 令和6年3月8日、オスプレイの運用停止措置を解除する旨の米軍からの情報提供への対応や令和6（2024）年頃までに計10機の配備となる計画であることも踏まえ、オスプレイの飛行再開や配備に関する情報や動き等について質問しました。

答弁 横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会から、早急に、より詳細な事故原因や安全対策、再発防止策などを明らかにするとともに、関係自治体に速やかに情報提供することを国に対し要請し、市も同様の申し入れを行った。「日本国内のオスプレイの段階的な運用再開について」の公表に先駆け、福生市役所で北関東防衛局長から市長が説明を受けたが、市民が納得できる最低限の説明にもなっていないことを伝え、より詳細な説明をするよう改めて強く求めた。横田基地周辺市町基地対策連絡会からも、改めて国及び米軍に対し要請した。横田基地へのCV-22オスプレイの配備計画に変更があるのか防衛省北関東防衛局へ確認をしたところ、変更があるとは聞いていない、情報が得られた際には、適切に地元の皆様にお知らせしたいと考えているとの説明であった。



Satokoji Point

令和6年での10機の配備については、現在もその可能性があることが確認できました。また今回の事故について、防衛省は「事故調査報告書が公表された際に、関係自治体に丁寧に説明したい」とのことでした。議会も引き続き注視し、しかるべく対応していく旨述べてさせていただきました。

詳しくはブログ「note」をご覧ください➡



3 こども計画について

質問 「福生市こども計画」の策定が令和6年度に行われます。計画策定に向けた、こども・子育て支援に関するアンケート調査も行われました。①アンケート調査の結果から見えてきた課題や②「福生市こども計画」策定の方向性と策定に向けた進捗状況について質問しました。

答弁 ①保護者に関しては、子育てをする上で相談できる人や場所が求められていること、また、子育てひろば事業、子育て相談事業などの地域子育て支援事業の利用率が低いことがわかった。子どもに関しては、若者向けに「思いっきり身体を動かせる場所や、趣味仲間が自由に集まれる場所等」の回答が多く、より多様な放課後の活動場所を提供していく必要がある。②令和5年12月に閣議決定された「こども大綱」を勘案して「福生市こども計画」を策定する。今後、アンケートから見えた課題なども含めて、子ども・子育て審議会でご意見をいただくほか、高校生ワークショップなどを通じて、「まんなか」となる子どもたちや、関係する方々の意見を聞きながら準備を進める。



Satokoji Point

令和6年4月の設置されたこども家庭センターは、専門性を生かした相談ができる場所となっています。利用しやすい環境づくりや施設等の周知などを要望しました。子どもが求める活動場所については、公園や各公共施設のほか、専門機関、企業との連携などにより、多くの場を確保し、つなげていく必要性を訴えました。また、子ども計画の子ども版が必要であるとの考えから、その作成について再質問し、子ども向けリーフレットを作成する予定との回答を得ました。アンケート調査の結果から、子どもの権利を知らない児童生徒が多く、大人もその理解が進んでない状況です。こども計画策定において、中心となる「子ども政策課」の役割は非常に大きく、担当課には大きく期待します。

4 幼保小の連携について

質問 市は、「福生版幼保小連携推進ガイドブック」を作成し、令和6年3月11日に教育委員会と就学前施設（幼稚園、保育園等）で包括連携協定が締結されました。今後、教育委員会として、持続可能な幼保小の連携をどのように進めていくのか質問しました。

教育長答弁 福生市における幼保小連携教育の入門書として「幼保小連携推進ガイドブック」を作成。幼保小接続・連携の機運が満ちており、その象徴が、教育委員会と市内17の就学前施設とで結んだ包括連携協定である。令和6年度は、年2回の幼保小連携推進委員会を開催し、「スタートカリキュラム」、「園児と児童の交流活動」、「保育者と教員の交流事業」の大きく3点について協議し、取組を進めている。5月には第1回推進委員会を開催、大変活発な協議を行った。小学校で参観会や意見交換等を開催、学校独自の取組を行うなど、これまでの取組を持続・発展させる形で進んでいる。



Satokoji Point

連携推進協議会の枠組みとは別に、学校と園が独自に連絡を取り合うなど必要な連携が進んでいることを再質問で確認しました。園と学校が主体的につながることが持続可能な幼保小の連携には必要です。また、教育委員会が今後も園と学校をしっかりサポートしていくことが必要であることを訴えました。



Pick Up NEWS

議会改革を進めています！

議員定数を19名から1名削減し18名に

令和元年6月から令和3年に開かれた「議会改革に関する協議会」で副座長を務めました。令和5年10月からは議会運営委員として議会改革に取り組んでいます。令和6年6月議会では、会長を務める正和会から議員定数を19名から1名削減し18名とする議員提出議案第1号を提出し賛成多数で可決されました（賛成：正和会・日本維新の会・生活者ネットワーク、反対：公明党・日本共産党・立憲民主党）。次回の一般選挙から福生市議会議員の定数は18名となります。



私が検討項目として挙げた11項目

- ①議会基本条例の制定
- ⑤議会DX（オンライン出席）
- ⑨シティズンシップ教育
- ②政治倫理条例の制定
- ⑥議会報告会
- ⑩政務活動費について
- ③委員会の動画配信
- ⑦課題懇談会
- ⑪議員の服装について
- ④放送設備の更新
- ⑧議会報告会の開催

これから本格的に①②について議論が始まりますが、議会の憲法ともいべき議会基本条例の制定過程において様々なことが話し合われます。以前の議会改革では検討そのものが難しかった項目ですが、時代は変わり制定することが決定されました。議員個人としてどうあるべきか、そして議会とはどうあるべきかしっかり考え抜く必要があります。



保護司として「社会を明るくする運動」に参加

佐藤こうじプロフィール

誕生～学生時代

1968年 東京都日野市生まれ。
 日野市立第二小学校、日野市立第一中学校、
 東京都立南多摩高校、中央大学法学部卒
 小学生時代：カブト虫・クワガタや魚獲りに明け暮れる
 中学生時代：卓球部所属（市や地区大会で優勝！）
 高校生時代：卓球部と体操部に所属、ロックバンド結成
 大学生時代：法学、政治学を学び、政治学のゼミに所属

佐藤こうじ
公式サイト



<https://www.sato-koji.com/>

佐藤こうじ
Facebookページ



市議会議員は毎日何をしているのか

職歴～現在

- 2015年** 保険会社、繊維業界紙新聞記者、予備校講師、家業の建築業（型枠工事／二級建築士）を経て、**福生市議会議員に初当選**。議会運営委員会 委員、総務文教委員会 委員、議会改革に関する特別委員会 副委員長、横田基地対策特別委員会 副委員長、西多摩衛生組合議会 議員
- 2019年** **福生市議会議員に再選**。総務文教委員会 委員長、議会運営委員会 委員、横田基地対策特別委員会 委員、議会改革に関する協議会 座長代行、福生病院組合議会 副議長、市議会正和会 政調会長
- 2021年** 議会運営委員会 委員長、総務文教委員会 委員、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 副委員長、瑞穂斎場組合議会 副議長、市議会正和会 総務会長
- 2023年** **福生市議会議員に3選**。市民厚生委員会 委員、議会運営委員会 委員、横田基地対策特別委員会 委員長、西多摩衛生組合議会 議長、市議会正和会 会長

生年月日 1968年10月28日（さそり座） **血液型** O型
趣味特技 カラオケ、卓球、読書（社会科学系等の本をよく読みます。漫画も好きです！）
政治観 地方自治は民主主義の学校である（J.プライス）
家族 福生生まれの妻（介護福祉士）、社会人の長男・次男、大学生の長女
座右の銘 処人譊然（しょじんあいぜん）「人と接するときには和やかな態度で接すること」
地域活動 保護司、（社）不動福祉会理事、福生社交飲食業組合相談役顧問、福生市柔道整復師会顧問、福生市防衛協会事務局長、福生市ゲートボール協会事務局長、多摩西部議員交友会会員、ふっさボランティア・市民活動センターFVAC運営委員、福生不動尊世話人、福生市本町町会顧問、市生会 理事、本町神輿保存会 世話人

メディア
出演情報

FM たちかわ

『I.S.M.(イズム)生特番』

第2・4週 日曜日 16:00～18:00

番組内出演コーナー 16:00～16:25

福生市議会議員 佐藤弘治の

「市議会議員は毎日何をしているのか?」

地方議員の活動や考えを皆さんにお伝えします!



84.4
FM
エフエム
たちかわ
FM TACHIKAWA

ご視聴方法はこちら→



心が通い 誰もが認められる 新たな時代のまちづくり

福生 **生きがい都市宣言!**

佐藤こうじ後援会 事務局

TEL/FAX 042-849-2196

✉ koji.sato.office@gmail.com

〒197-0022 福生市本町 79